



マネージャの削除

この章では、Cisco Unified Communications Manager データベースおよびLDAP ディレクトリからマネージャをそのマネージャ-アシスタント関連付けと共に削除する方法について説明します。クエリ検索またはカスタム ファイルのいずれかを使用して、削除する既存のレコードを検索できます。

- [Cisco Unified Communications Manager からのマネージャの削除, 1 ページ](#)
- [マネージャの削除関連のトピック, 4 ページ](#)

Cisco Unified Communications Manager からのマネージャの削除

Unified CM Assistant マネージャとすべてのマネージャ - アシスタント関連付けを Cisco Unified Communications Manager データベースと LDAP ディレクトリから削除すると、Cisco Unified Communications Manager はこのマネージャの情報をユーザとしてディレクトリで維持します。たとえば、ユーザ ID が `rmartinez` のマネージャに、ユーザ ID が `dbell` と `jkent` の 2 名のアシスタントが関連付けられている場合、この両方のアシスタントと `rmartinez` の関連付けを解除するには、Cisco Unified Communications Manager データベースから `rmartinez` をマネージャとして削除します。`rmartinez` はその後もユーザとしてディレクトリに表示されます。

削除する既存のレコードを検索するには、クエリ検索またはカスタム ファイルを使用できます。

クエリを使用したマネージャ アソシエーションの削除

この手順を使用して、Cisco Unified Communications Manager ディレクトリでアシスタントとのアソシエーションからマネージャを削除できます。

手順

- ステップ 1** [BAT管理 (BAT Administration)] > [マネージャ/アシスタント (Managers/Assistants)] > [マネージャの削除 (Delete Managers)] > [クエリ (Query)] の順に選択します。
[マネージャの削除 (Delete Managers Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 最初の [マネージャの検索 (Find Managers where)] ドロップダウンリストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- ユーザ ID (User ID)
- 名
- ミドル ネーム (Middle Name)
- 姓
- 部署名 (Department)

2 番目の [マネージャの検索 (Find Managers where)] ドロップダウンリストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- が次の文字列で始まる (begins with)
- が次の文字列を含む (contains)
- が次の文字列と等しい (is exactly)
- が次の文字列で終わる (ends with)
- が空である (is empty)
- が空ではない (is not empty)

- ステップ 3** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定し、[検索 (Find)] をクリックします。
- ヒント** データベースに登録されているすべてのマネージャを検索するには、検索テキストを何も入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。
- a) 複数の部署からマネージャを選択するには、このフィールドに複数の部署を入力します。たとえば、部署 12 と部署 24 からマネージャを選択するには、操作を 2 回行う代わりに、3 番目のボックスに「12, 24」と入力します。
 - b) さらにクエリを定義して複数のフィルタを追加するには、[絞り込み (Search Within Results)] チェックボックスをオンにして、ドロップダウンボックスから [AND] または [OR] を選択し、[ステップ 2, \(2 ページ\)](#) と [ステップ 3, \(2 ページ\)](#) を繰り返します。

検出されたマネージャのリストが次の分類で表示されます。

- ユーザ ID (User ID)
- 名
- ミドル ネーム (Middle Name)
- 姓

- 部署名 (Department)

ステップ 4 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 5 削除方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- すぐにマネージャを削除する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
- 後でマネージャを削除する場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ 6 選択したマネージャを削除するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
[ジョブの設定 (Job Configuration)] ウィンドウを使用して、このジョブをスケジュールまたはアクティブ化します。

関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[ジョブのスケジュール設定の管理](#)

[マネージャの削除関連のトピック, \(4 ページ\)](#)

カスタム ファイルを使用したマネージャ アソシエーションの削除

テキスト エディタを使って作成したカスタム ファイルを使用して、Cisco Unified Communications Manager データベースからマネージャ アソシエーションを削除できます。カスタム ファイルを使用して、削除するマネージャ アソシエーションを特定します。



注目 bat.xlt で作成された挿入トランザクションまたはエクスポートトランザクションのファイルを削除トランザクションに使用しないでください。代わりに、削除する必要があるマネージャ アソシエーション レコードの詳細を含むカスタム ファイルを作成する必要があります。削除トランザクションにはこのファイルだけを使用してください。

はじめる前に

- 1 削除するマネージャのユーザ ID を列挙したカスタム テキストベースの CSV データ ファイルを作成します。各ユーザ ID を必ず別々の行に配置してください。



(注) このカスタム削除 CSV データ ファイルには見出しが不要で、マネージャ アソシエーション ID の値を入力できます。

- 2 カスタム ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードします。

手順

-
- ステップ 1** [BAT管理 (BAT Administration)] > [マネージャ/アシスタント (Managers/Assistants)] > [マネージャの削除 (Delete Managers)] > [カスタムファイル (Custom File)] の順に選択します。
[マネージャの削除 (Delete Managers Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [マネージャの選択 (Select managers where)] フィールドは、識別子 [ユーザID (User ID)] のままにします。
- ステップ 3** 2 番目のフィールドでは、[カスタムファイル (Custom File)] ドロップダウン リスト ボックスから、このトランザクション用に作成したカスタム ファイルの名前を選択します。
- ステップ 4** [検索 (Find)] をクリックします。
検出されたマネージャのリストが表示されます。
- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 6** 削除方法を選択します。次のいずれかを実行します。
- a) すぐにマネージャを削除する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
 - b) 後でマネージャを削除する場合は [後で実行 (Run Later)] をクリックします。
- ステップ 7** 選択したマネージャを削除するためのジョブを作成するには [送信 (Submit)] をクリックします。
[ジョブの設定 (Job Configuration)] ウィンドウを使用して、このジョブをスケジュールまたはアクティブ化します。
-

関連トピック

- [BAT ログ ファイル](#)
- [ジョブのスケジュール設定の管理](#)
- [サーバへのファイルのアップロード](#)

マネージャの削除関連のトピック

- [Cisco Unified Communications Manager からの特定のマネージャ/アシスタント アソシエーションの削除](#)
- [Cisco Unified Communications Manager からのアシスタントの削除](#)
- [BAT ログ ファイル](#)
- [サーバへのファイルのアップロード](#)
- [ジョブのスケジュール設定の管理](#)